

東日本大震災復興支援

第1回全国中学生フェンシング選手権大会

要 項



この大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて開催されています。



主 催 (公社)日本フェンシング協会
主 管 東京都フェンシング協会
協 賛 NEXUS 株式会社

※若干の変更が生じる場合がありますので予めご了承ください。

実施要項

1. 期日 : 平成27年7月18日(土)~20日(月・祝)
2. 会場 : 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園 1-1
東急田園都市線 駒沢大学駅より 徒歩約 15 分

3. 競技種目:

- 中学生の部 男子/女子 フルーレ・エペ・サーブル個人戦
※個人戦は、2 種目まで出場することができる。ただし、エペとサーブルは同時進行となるため、どちらか 1 種目の参加とすること。
- 中学生の部 男子/女子 団体戦(紅白戦)
フルーレ1名、エペ1名、サーブル1名、3名による5本勝負の紅白戦で行う。
※団体戦は所属団体から何チームでも出場できる。

4. 日程(概略)

7月18日(土)	9:00~ 9:20	技術委員会
	9:20~ 9:40	審判会議
	9:40~10:00	開会式
	10:10~終了まで	競技(個人戦の部) ○男子フルーレ 個人戦 ○女子エペ 個人戦 ○女子サーブル 個人戦
7月19日(日)	9:30~	開始式
	10:00~終了まで	競技(個人戦の部) ○男子エペ 個人戦 ○男子サーブル 個人戦 ○女子フルーレ 個人戦
7月20日(月)	9:30~	開始式
	10:00~終了まで	競技(団体戦の部) ○男子団体戦(フルーレ・エペ・サーブル各1名の紅白戦) ○女子団体戦(フルーレ・エペ・サーブル各1名の紅白戦)
	競技終了後	閉会式

5. 参加資格

- 1) 全ての参加選手・監督は平成27年度(公社)日本フェンシング協会登録済みの者とする。
(6月11日までに登録手続きを完了すること。)
- 2) 全ての参加選手は、保護者および支部協会長の承認を得た中学生とする。
- 3) 日本フェンシング協会登録外の外国選手については、各カテゴリーに相当する者で、当該所属国に登録済みで、当該国フェンシング協会が推薦した者を審査し、参加資格を与える。当該国に登録済みであることを証明する書類を持参すること。
- 4) フルーレの部個人戦では以下のいずれかの資格を得たものが参加できる。
 - ①各都道府県支部における出場資格(個人戦)
各支部は、平成27年5月31日時点の中学生の部クラス、各支部登録者数の40%以内の選手(日本協会ホームページに各支部の登録者の40%相当の人数を掲載する)に、予選競技会または推薦等により参加資格を付与するものとする。

②各ブロックにおける出場資格

各ブロックは、次表の人数以内の選手に、予選会または推薦等により参加資格を付与するものとする。

各ブロックの出場者数表

ブロック名	平成27年ブロック推薦者数(フルーレ)
	中学生男子・女子
北海道	1人
東北	6人
関東	8人
北信越	6人
東海	4人
近畿	6人
中国	3人
四国	2人
九州	2人
計	38人

③公益社団法人日本フェンシング協会は、下記に該当する選手に参加資格を付与する。

i) 主管団体(東京都)が推薦する選手 8名。平成27年度は、本協会と主管団体との協議により、5月に行われる東日本少年選手権のフルーレ種目上位8名に参加資格を付与する。

ii) 2015 世界ジュニア・カデ選手権のフルーレ種目の代表となった選手(中学生)のうち、代表選手としての活動(合宿、大会参加)等により、各支部およびブロックで行われる予選会等への出場が困難と認められる選手には、本協会が参加資格を付与する。

5) エペ・サーブル種目については、参加制限を設けない。

但し、両種目とも男女別60名を大きく超える場合は、参加人数制限を行う場合がある。その場合は、各都道府県のランキングに従い、出場資格を付与するものとする。

6) 団体戦について

1. 男女ともにフルーレ1名、エペ1名、サーブル1名の3名で5本勝負の紅白戦で行う。

チーム編成は5名まで可能とし、その中で自由に種目の選手を入れ替えることが出来る。

2. 各団体から何チームでも出場できる。ただし、(公社)日本フェンシング協会登録団体名であること。複数チーム参加の場合の名称は、登録名の後に A. B. C 等を付与すること。

3. 試合方法は国体形式をとり、1回戦は3～4チームの総当たりプール戦とする。3試合すべて行う。

2回戦もプール戦(3～4チーム)とする。3回戦～決勝まではエリミネーションディレクトのトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。

4. 対戦種目の順序はメンバー票提出時に当該チーム同士の抽選により、決めることとする。

6. 参加費 : 個人戦 5,000円 団体戦1チーム 15,000円(JSC 補助金活用)

個人戦参加資格を得た選手、団体戦チームは参加申込と同時に下記に振込みをすること。

口座番号 みずほ銀行 高田馬場支店 普通預金 2898515

口座名義 トウキョウトフェンシングキョウカイ(東京都フェンシング協会)

7. 参加申込 :

6月11日(木)～7月3日(金)の期間に、参加申込団体名義で申し込むこと。

個人戦申込みについては東京都フェンシング協会 Web サイト <http://escrime.jp/>より大会エントリーフォームに必要事項を入力し、申し込み入金後、別紙「口座振込連絡票」に必要事項を記入し、下記「申込先」まで振込控え(コピー可)を添付の上、FAX または郵送して受付完了となる。

Web サイト申込み以外では、「個人戦出場申込用紙」に必要事項を記入の上、振込みを証明できる

振込控えのコピーなどを添付し、下記「申込先」まで郵送、FAXにて申し込みで受付完了となる。団体戦は別紙「団体戦出場申込書」に必要事項を記入の上、振込みを証明できる振込み控えのコピーなどを添付し、下記申込み先まで郵送、FAXにて申込み。
参加費が振込まれていないものについては、参加申込み完了とはならないので注意すること。また、参加申込み後は、参加を辞退した場合でも参加費の返還は行わない。

◎申込先

【ファクシミリ】 03-5396-2813

【郵 送】 〒171-0033 東京都豊島区高田 2-18-23 (株)東京フェンシング商会 内

【宛 名】 東京都フェンシング協会 「第1回全国中学生選手権大会」 宛

【E-mail】 tokyotofencing@yahoo.co.jp

8. 未登録者および申込期間後の参加申し込みの特例

上記5～7にかかわらず、協会登録手続き中の者および参加申込期間を過ぎての申込者等について、主催および主管団体の判断により、参加を認める場合がある。その場合、参加者は、出場費とともに、1名につき¥5,000を支払わなければならない。

9. 表彰

個人戦優勝者には優勝杯(NEXUS CUP)・メダル・賞状を、2・3位にはメダル・賞状、5位～8位に賞状を贈る。団体戦優勝チームには優勝杯(NEXUS CUP)・メダル・賞状を、2・3位にはメダルを贈る。本大会のフルーレの部個人戦上位8人、エペ・サーブルの部個人戦上位4人までの入賞者は、日本フェンシング協会が主催する海外派遣事業(研修)の候補選手として推薦する。

10. 競技方法

1) 試合規則

F・I・E(国際フェンシング連盟)および(公社)日本フェンシング協会試合規則の最新版を準用するが下記の項目については本大会のルールを適用する。

2) 試合方法

○個人戦男/女 フルーレ個人戦 エペ個人戦 サーブル個人戦	・プール戦とトーナメント方式でおこなう。 ・試合はプール戦5本先取 ・トーナメント戦は3分間2セットの10本先取とし、準々決勝から決勝までは3分間3セットの15本勝負とする。
○団体戦男/女 フルーレ・エペ・サーブル各1名 3名による紅白戦	・プール戦(3～4チーム)1回戦、プール戦(3～4チーム)2回戦とエリミナシオンディレクトのトーナメント方式でおこなう。 ・試合は5本先取、フルーレ、エペ、サーブルの紅白戦。 ・プール戦は勝敗がついても3試合すべて行う、トーナメントでは勝敗が付いた時点で終了とする。

シード順および組合せは、主催者において実施する。

参加者数、参加チーム数等により、試合方法を変更する場合がある。

11. 武器用具装備

1) F・I・E競技規則第1編第4章 選手の装備:選手は、自己の責任において剣を持ち、用具、服装を着けて競技を行う。「自分の全責任の元に危険・災害に対して、武器・装具・服を着けて戦う。選手は、自分が加害者または被害者となるあらゆる事故に対して、責任を持たなければならない。」ことを理解して試合に臨むこと。

2) 用具は、2010年6月13日付け 競技における事故防止・安全管理について を適用する。

2010年6月13日付け **競技における事故防止・安全管理について(通達抜粋)**

・**ジュニア・カデ大会等(JOC カップ、国民体育大会(少年)、全国少年大会(中学生)他)**

これら主催大会においては、直近のアジア連盟主催の「2010年アジアジュニアカデ大会要項等」の内容に基づき、安全確保が妥当と思われるため、以下の3点について適用することとした。(ユニフォーム上下、プロテクター、マスク)

なお、その他の武器等については、大会要項による。

- ①ユニフォーム上下 350N
- ②F.I.E 公認マーク付き半袖付プロテクター800N
- ③F.I.E 公認マーク付きマスク 1600N

・2015年1月8日付け「マスクの安全基準改定について」を適用する。

レオンポールマスクの2番目の安全ベルトの装着

3)その他

- ①中学生はユニフォームについても、800N以上の衝撃に耐えうるものを着用することを推奨する。
- ②ストッキングは、白色の膝の出ない長めのものを使用すること。
- ③中学生のフルーレ種目におけるマスクは、電導ビブ付きを使用する。
エペ種目で電導ビブ付きマスクを使用することはできない。(ビブ付マスクをテープで貼ることも不可)
- ④透明マスクは全種目使用禁止。「2月20日付け・日本フェンシング協会 通達」参照。
- ⑤中学生の女子選手は、金属または固い材料で出来ている胸当てを両胸に着用すること。

4)用具検査 事前の用具検査は行わない。

審判員は、試合開始前にピスト上で選手のユニフォーム・プロテクター・マスク等の劣化やほころび等を確認する。その際、劣化やほころび等があると認められた場合、選手はイエローカードの警告を受け、適正なものに交換しなければならない。

12. 宿泊 各自、手配すること。

13. 安全管理 参加者は競技会の全般における安全管理については、特に留意して臨むこと。

- ①各選手・監督には主催者が競技会における傷害保険をかける。
- ②各選手は事前にスポーツ傷害保険等、他の保険に加入することが望ましい。

◎試合中のケガについての責任は、主催者では負いかねますので、ご了承の上、申し込んでください。

※本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。

未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。

中学生から19歳までの参加者はこの期間に一回、ドーピング規程「同意書」を日本フェンシング協会に提出すること。